

# ZUSHI ZERO WASTE

神奈川県逗子市で、地味にこつこつゼロ・ウェイストをめざして

逗子ゼロ・ウェイストの会代表 松本 真知子



## 市役所の一角にできたエコ広場

「40年前のひな人形一式あります。欲しい方に差し上げたいのですが」  
「家を処分しているのですが、古い食器が段ボール箱にいくつもありますが」  
今日も、そんな「エコ広場ずし」に関する問合せが私の電話にかかってきました…。20年間ごみ一筋、趣味というか、ライフワークというか…市議会議員までやってしまった私生まれ育ち、住み続けているのが、人口約58,000人、高齢化率30%にならないとする三浦半島の付け根に位置する山と海に囲まれた小さなまち「逗子市」です。

逗子市で、最近ごみ関係の皆さんに誇れるのが、「エコ広場ずし」です。

『逗子ゼロ・ウェイストの会』と逗子市役所資源循環課との市民協働事業として、紆余曲折の末、2012年10月に逗子の町中にある市役所一階ホールの一角40.5㎡(25畳)を仕切ってオープンしました。「エコ広場ずし」とは「無駄・浪費・ごみをなくす＝ゼロ・ウェイスト」を体験、学んでもらう場所です。

市役所開庁日の10～16時にオープン。1年間で、ここに持ち込まなければごみになってしまう資源の持込み量は34.1t、利用者約32000人。毎日大盛況の混雑ぶり。視察の方も「市役所の中でこんなことができるんですね」とびっくり。(逗子には今まで市のリサイクルセンターがなかったんですよ!!)



## 「もったいない市」は連日大盛況

一番人気は、リユースコーナー「もったいない市」。上勝町でやっている「くるくるショップ」をまねて、使える不要品(資源)を無料で持込み、必要な人が無料で持ち帰るシステム。持ち込まれるものは…陶器、ガラス器、本、レコード、CD、台所用品、かばん類、日用雑貨、文具、健康器具、子ども用品、おもちゃ、人形、衣類や靴、小さい家電など。

持ち込む・持ち帰る、どちらの利用者にも重量記入をしてもらいます。資源持参者には10ポイントで1Zen(=100円相当の地域通貨である逗子市社会参加・市民活動ポイント)



のエコポイントを差しあげています。(ちょっとグチになりますが…、盛況の裏には、のんびりした上勝町とは違い、すこし都会っぽい逗子なので、意義を理解しない少数の利用者に苦勞しています)

## 「エコ広場ずし」のその他の活動と運営形態



「エコ広場ずし」では市が回収していない《家庭金属・割れた陶器ガラス器・アルミ箔付き紙パック・割ばし》などを先取り提案して資源回収しています。

また、生ごみ処理容器「バクテリア de キエーロ」やダンボールコンポスト、わかりにくい容プラや雑紙の出し方の啓発展示もしています。

月に一度の市民講師によるエコワークショップ、生ごみ相談の日や繕い物の日。年に一度のエコ広場まつり。また若い方たちにも読んでもらえる内容の広報紙も発行。「天然生活」風のカラー印刷 A3 二つ折り「ずしゼロ・ウェイスト NEWS」で、年一回全戸配布しています。

運営資金は、市からの補助金(2013 年度 54 万円)とカンパでまかない、ボランティアスタッフには 3 時間で 1 Zen と交通費支給されます。運営主体は、ごみの連絡会で 17 年ぐらい前から緩く繋がっていたグループを中心に、逗子ゼロ・ウェイストの会、ずし環境会議ごみ問題部会、ユーコープ逗子葉山、逗子市消費生活研究会、湘南の風支援センター(知的障<sup>がい</sup>碍の方の社会生活力を育む活動)と個人参加の方々です。月一度運営委員会を行い、いろいろなことを話し合いながら決めています。(本音を言う…スタッフスケジュール調整が大変～！)

2013 年 10 月からは、東と西の二つの公民館で「出張エコ広場」も月に 2 日間ずつ始め、地域の方と協力運営しています。

## 広域ごみ処理計画に翻弄された逗子市がここまで来た！



実は逗子市のごみ行政は、1998 年位から、横須賀三浦のごみ処理広域化計画や神奈川全体でごみ処理のエコループプロジェクトと 10 年近く翻弄されました。私が市議会議員(2002～2010 年)になったのも「ごみは、自治体独自の知恵や工夫で減量し処理するのが原則だ。大型焼却炉建設の広域ごみ処理には反対。ごみを燃やさない・埋めないゼロ・ウェイストを！」の市民の声を届けるためでした。

2009 年には事実上広域解散、現平井市長は「ゼロ・ウェイスト社会への挑戦」を唱い、焼却炉、処分場の延命を決めました。2010 年「一般廃棄物処理基本計画」で 2019 年までに生ごみと植木剪定枝を燃やさず、燃やすごみを 3 分の 2 減らし、焼却灰の埋め立てを 10 分の 1 にする画期的な計画を市民参加で策定し、動き出しています。

そして、その象徴が市役所内の「エコ広場ずし」。やっとここまで来ました。市民の知恵と工夫を活かし、市と協働で地味に進めてきた活動の成果として、「逗子で、ごみを燃やさない埋めないゼロ・ウェイストを！」の精神が「エコ広場ずし」をきっかけに、少しずつ市民や事業者の方々に広がっています。

参考：次のキーワードで検索を！

\*ずしゼロ・ウェイストWEB \*逗子市資源循環課 \*逗子市社会参加・市民活動ポイント

